

妻沼滑空場の運航状況

公益財団法人 日本学生航空連盟
一般社団法人 東日本学生航空連盟

2022年7月

本日の内容

1. 自己紹介
2. 公益財団法人 日本学生航空連盟について
一般社団法人 東日本学生航空連盟について
3. 妻沼滑空場情報
4. 妻沼滑空場周辺の運航状況
5. その他(お願い)

1. 日本学生航空連盟

名 称	公益財団法人 日本学生航空連盟 一般社団法人 東日本学生航空連盟
所在地	東京都港区新橋一丁目18番2号 明宏ビル本館5階
加 盟 校 学 生 数	57校(55大学、1各種学校、1高校) 約800人
活動内容	1930年設立、大学の課外活動として 当初は飛行機で活動、5年後に滑空機 による活動が開始された。

2. 活動拠点

関東地区:	埼玉県熊谷市	妻沼滑空場
東海地区:	岐阜県	木曾川滑空場
		大野滑空場
関西地区:		福井空港
九州地区:	大分県	久住滑空場
	大分県	県央空港
	熊本県	白川滑空場

3. 妻沼滑空場情報

1. 所 属 公益財団法人日本学生航空連盟
2. 管 理 者 一般社団法人東日本学生航空連盟
3. 連 絡 先 東京都港区新橋1-18-2
明宏ビル本館5階
4. 開 設 1963年妻沼第一滑空場開設、
1970年妻沼第二滑走路開設、
5. 所 在 地 埼玉県熊谷市葛和田・俵瀬地先
(利根川右岸河川敷)
6. 緯度・経度 北緯36° 12'41" 東経139° 25'08"
7. 標高 89ft、R/W32・14
8. 航空無線局 呼出名称:ぬまフライトサービス
周波数 :130.5MHz

5. 妻沼滑空場 場周経路



1. 所在地:
埼玉県熊谷市葛和田・俵瀬地先
(利根川右岸河川敷)
2. 緯度・経度: 北緯 $36^{\circ} 12' 41''$
東経 $139^{\circ} 25' 08''$
3. 標高 : 89ft
4. 滑走路方位 : R/W32・14
5. 航空無線局 : 呼出名称: めぬまフライトサービス
周波数: 130.5MHz
6. グライダー専用周波数 :
26. 342MHz
7. Remarks: 第一滑空場と第二滑空場が隣接して
運航しています。妻沼滑空場周辺での飛行時には
事前にご連絡頂ければ助かります。

緯度・経度 北緯36° 12'41" 東経139° 25'08"



6. 妻沼滑空場情報

飛行内容: 約19000回(2018年実績)

- ・ウィンチ曳航・航空機曳航
- ・操縦練習許可書による操縦練習
- ・クロスカントリートレーニング
- ・異常姿勢からの回復（法第91条曲技申請）
- ・グライダー競技会

特徴: 第一滑空場の長さ1500m

第二滑空場の長さ1230m

訓練所: 埼玉県熊谷市葛和田1975

TEL(FAX). 048-588-0697

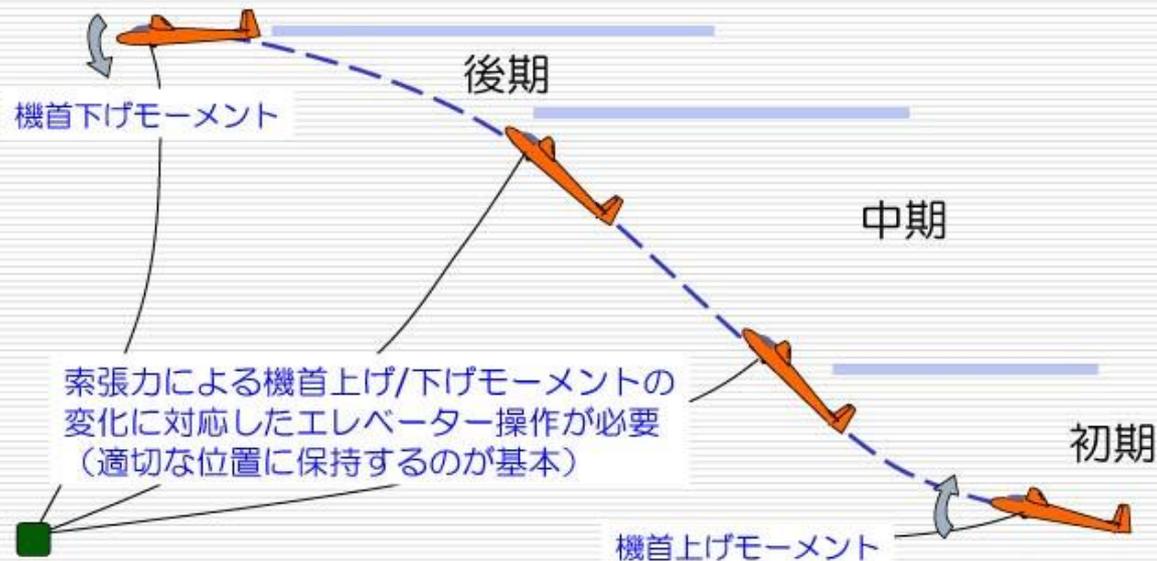
7. 曳航方法

- ウインチ曳航：曳航索（5mmの鋼索・超強度ポリエチレン）を約300馬力エンジンにドラムを付けて約100km/hの速さで巻き取り高度を獲得する方法
- 航空機曳航：陸上単発機に約60mのナイロンロープで曳航する方法

8. ウィンチ曳航

ウィンチ曳航の力学

曳航径路の概要



10

9. ウィンチ曳航中のグライダー



11. 飛行内容

○操縦練習飛行

空域及び高度:

A区域 4500ft

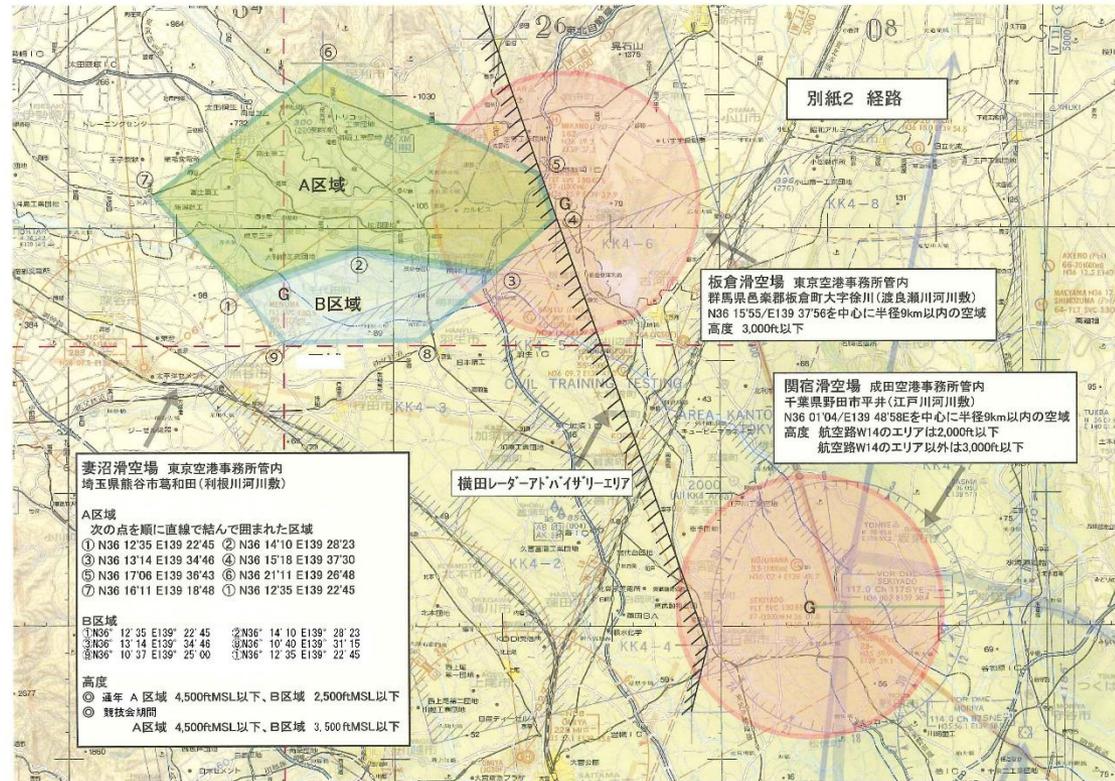
B区域通常 2500ft

競技会 3500ft

但し民間試験訓練空域

KK4-3を除く

法60・92条但し書き申請



12. 2022年度 妻沼滑空場の競技会(法134条)

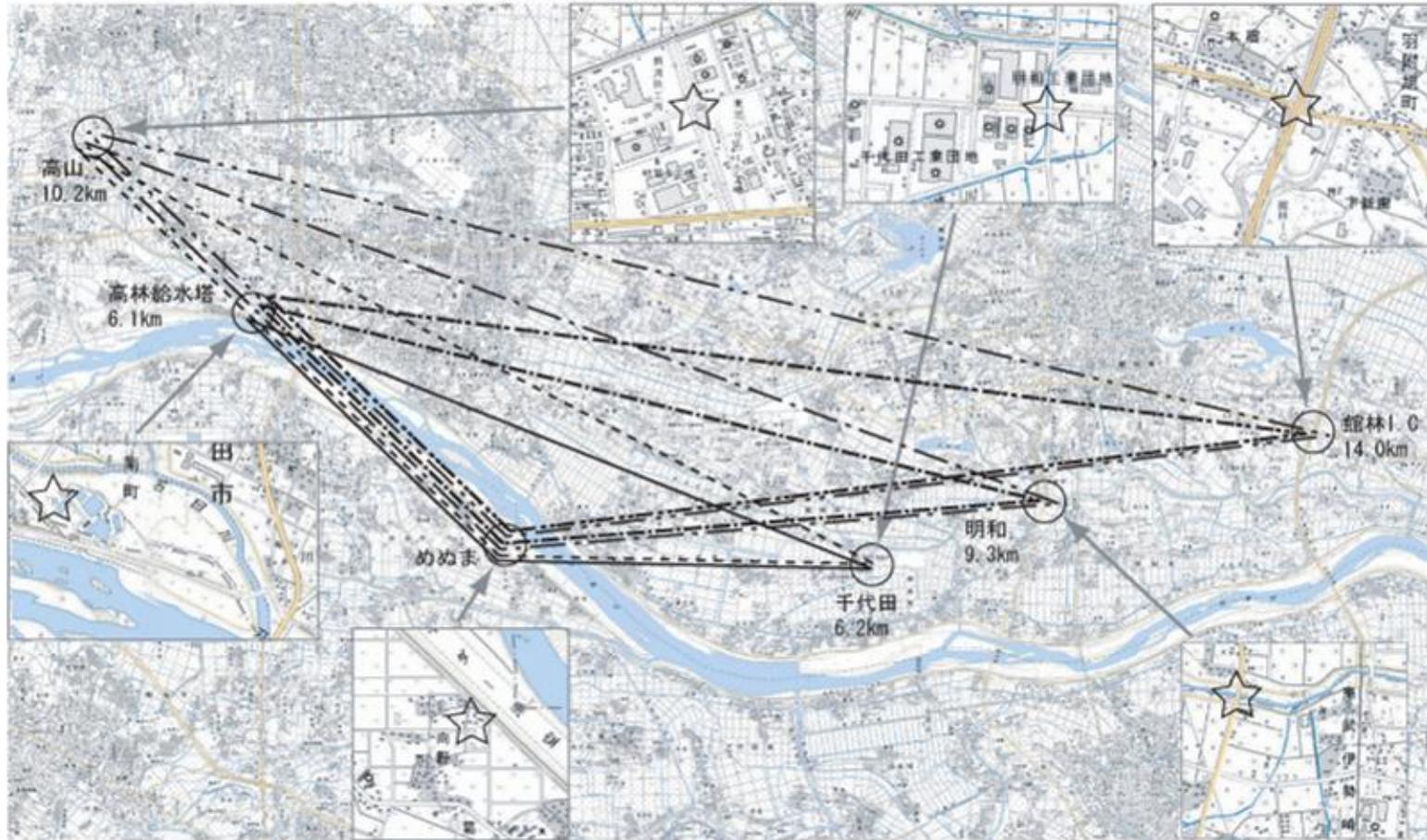
競技会名と期間

- (1) エレメンタリー・クロスカントリー・トレーニング
2022年4月19日(火)～4月22日(金)
- (2) 第25回東京六大学対抗グライダー競技会 2022年8月29日(月)～9月4日(日)
- (3) 第38回関東学生グライダー競技会 2022年10月8日(土)～10月10日(月)
2022年10月14日(金)～10月16日(日)
- (4) 全国大会強化合宿期間 2022年11月28日(月)～12月 4日(日)
- (5) 第5回青山学院大学・法政大学・立教大学対抗グライダー競技会
2023年 2月 4日(土)～ 2月 10日(金)
- (6) 第51回早稲田大学・慶応義塾大学対抗グライダー競技会
2023年 2月21日(火)～ 2月27日(土)
- (7) 第63回 全日本学生グライダー競技選手権大会
2023年 3月 5日(日)～ 3月11日(土)
- (8) 第2回クロスカントリー選手権 2023年 3月14日(火)～ 3月17日(金)

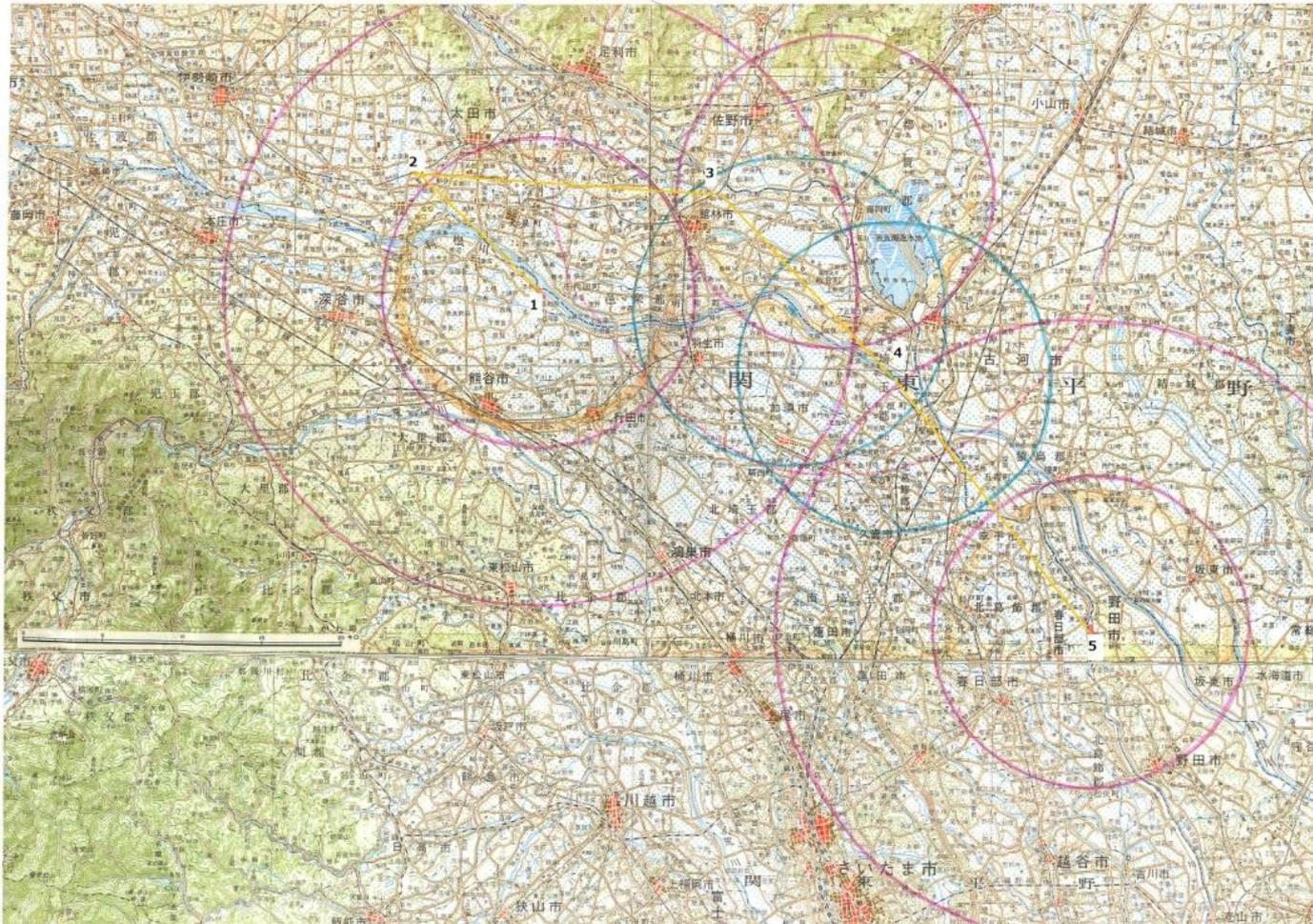
13. 全国大会競技飛行コース

全日本学生グライダー競技選手権大会 旋回点

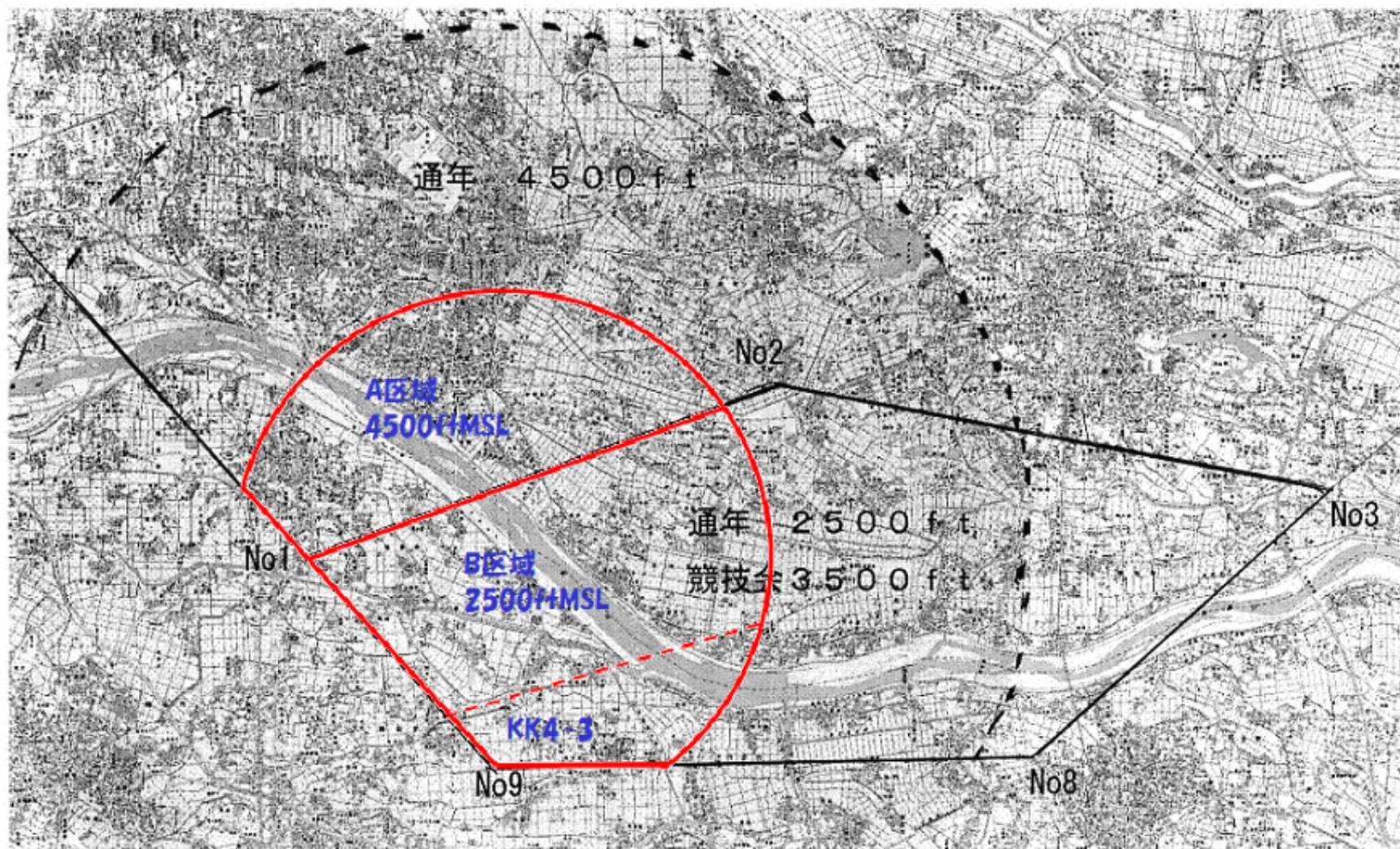
* 旋回点の数字はめめま旋回点からの距離



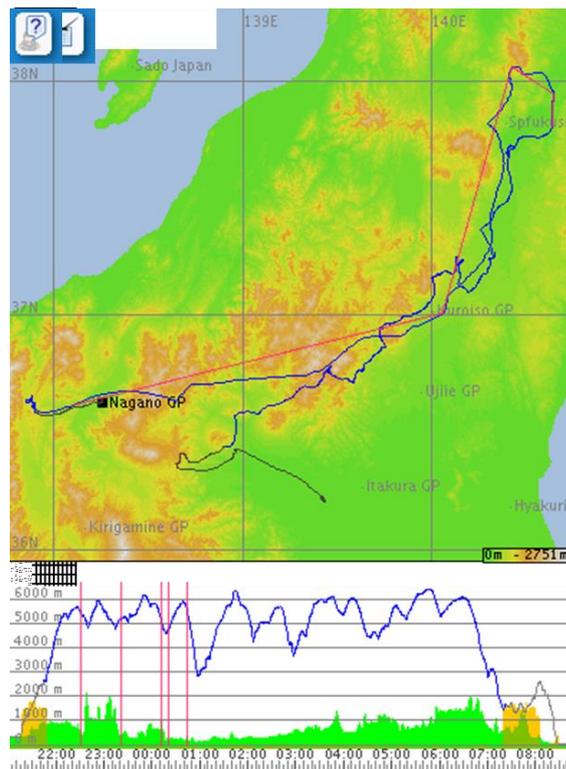
14. クロスカンントリー トレーニング飛行



15. 曲技及び異常姿勢からの回復飛行(法91条)



15. ウェーブ・フライト



19.04.2013 23:56:27

16. その他 (滑空機は何をしているの?)

- 滑空機は、上昇気流が燃料です。長距離飛行や長い時間の飛行をするためには、太陽の日射で温められた空気が上昇気流のトリガーとなります。そのために目的地に直線飛行はせずに、蓄熱のしやすい場所を選定して飛行します。また、対地的に滑空比の良い速度で飛行しますので、気流の上下に合わせて速度を変化させクルージングのときには40～80ノット位の範囲で速度変化をさせて飛行します。

17. その他(お願い)

- 滑空場周辺で、特にウィンチ曳航を実施している滑空場の上空は大変危険です。数十秒の曳航時間で2000ft(600m)の高度を獲得します。また、上空からは曳航索の視認は非常に困難です。
- 滑空機の色はFRPの機体が多く、樹脂を紫外線から守るために白い色の機体が多い。(主翼上面のJA No記載免除を受けています。)
- 滑空場は多くの場合河川敷に有ります。視程の悪いときは川沿いに飛行する航空機が多く有ります。滑空場周辺の滑空機に特に注意をお願いします！

18. お願い

妻沼滑空場周辺で、飛行を計画されている小型機や回転翼航空機を運航されている官公庁や使用事業の方々にはお願いです。

1. 妻沼フライトサービス130. 50MHzの活用をお願いします。
2. 妻沼滑空場の場周経路附近での飛行を計画されている場合には、事前調整をして頂ければ滑空機の運航を中断して飛行の協力を致します。
3. 事前調整連絡先妻沼滑空場:048(588)0697
新橋事務所:03(6206)1235
4. E-Mail:entry@jsal.or.jp
5. 妻沼ピスト:070(6667)2520